

徳島新聞紙上対談 企画・制作／徳島新聞社 企画事業課



徳島ピンクリボン集会2011集会開催記念

「がんとうまく付き合う方法」

がん治療における在宅緩和ケアの役割

日本は世界一のがん大国

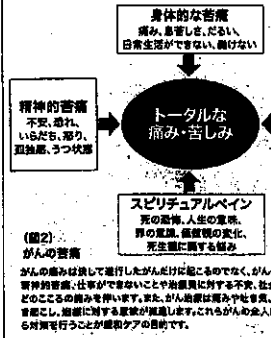
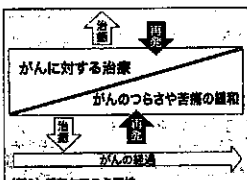
1980年代後半から増加傾向を示しているがんは、2008年のがん死亡人口は84,106人(前年比0.8%増)と推定され、がんによる死亡は日本人の死因の1位と推定されています。がんによる死亡は、男女ともに増加傾向にあり、女性のがんによる死亡は、2008年の推定死亡人口の約1割を占めています。

がんは、がんの種類によって、治療法や予後が大きく異なります。がんの種類、がんの進行状況、患者の年齢や健康状態、患者の希望などを踏まえ、最適な治療法を選択することが重要です。

がん治療と緩和ケアの重要性

がん治療は、がんの増殖を抑え、がんの転移を防ぐことが目的です。しかし、がん治療は、患者の身体や心に大きな負担をかけることがあります。がん治療を受ける患者は、身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみなど、さまざまな苦しみを経験することがあります。

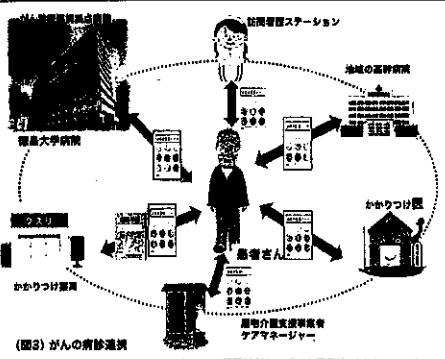
緩和ケアは、がん治療を受ける患者の身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみを軽減し、患者の生活の質を向上させることを目的としています。緩和ケアは、がん治療と併せて行われることが重要です。



麻薬は怖くない

がんの増殖を抑え、がんの転移を防ぐことが目的です。しかし、がん治療は、患者の身体や心に大きな負担をかけることがあります。がん治療を受ける患者は、身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみを体験することがあります。

緩和ケアは、がん治療を受ける患者の身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみを軽減し、患者の生活の質を向上させることを目的としています。緩和ケアは、がん治療と併せて行われることが重要です。



がん診療連携拠点センターは、がん治療を受ける患者の身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみを軽減し、患者の生活の質を向上させることを目的としています。緩和ケアは、がん治療と併せて行われることが重要です。

在宅医療には、様々な苦しみがあります。緩和ケアは、これらの苦しみを軽減し、患者の生活の質を向上させることを目的としています。緩和ケアは、がん治療と併せて行われることが重要です。

徳島大学病院がん診療連携拠点センター TEL:088-633-9107
http://www.tokudai-genrankel.jp/
徳島がん対策センター
http://www.toku-genrankel.jp/

徳島市在宅緩和ケアネットワーク
http://55web.jp/tcma/kanwacare/m_ktd_llst.html



がん診療連携拠点センターは、がん治療を受ける患者の身体的な痛み、精神的な苦しみ、社会的な苦しみを軽減し、患者の生活の質を向上させることを目的としています。緩和ケアは、がん治療と併せて行われることが重要です。